

たかしん

WAVE

Vol.202

目次

- 第202回景気動向調査
2025年10－12月期
- 特別調査
「2026年(令和8年)の経営見通し」
- シリーズ「上野三碑かるた・い」
- 店舗紹介（北支店）



高崎信用金庫

全業種総合

回答422企業（回答率93.5%）

今期の業況
(2025年10-12月期)

業況は全業種で上昇

全業種合計の業況判断指数(DI)は、前回調査(2025年7-9月期)の△21から12ポイント上昇の△9となり、全業種で上昇となった。

業種別DI値は、製造業は△16(前期比20ポイント上昇)、卸売業は△5(同比9ポイント上昇)、小売

業は△17(同比6ポイント上昇)、建設業は△5(同比8ポイント上昇)、サービス業は△5(同比20ポイント上昇)、不動産業は+17(同比7ポイント上昇)となり、6業種すべてで上昇し、最も上昇幅が大きかったのは製造業とサービス業であった。

来期の業況
(2026年1-3月期)

来期はほぼ横ばいを予想











































来期の全業種合計の予想業況判断指数(DI)は、今期に比べ2ポイント低下の△11となり、ほぼ横ばいを予想している。

業種別では、製造業、小売業、不動産業の3業種で上昇、卸売業、建設業、サービス業の3業種で低下の見通し。

高崎地区の景況天気図

今期

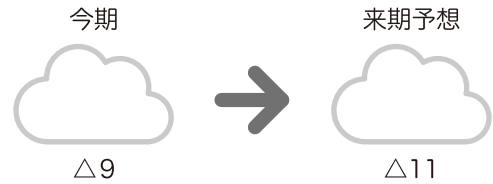
来期予想

	2024年 10-12月期	2025年 1-3月期	2025年 4-6月期	2025年 7-9月期	2025年 10-12月期	2026年 1-3月期
全業種	 △ 4	 △ 16	 △ 15	 △ 21	 △ 9	 △ 11
製造業	 △ 17	 △ 26	 △ 31	 △ 36	 △ 16	 △ 6
卸売業	 + 9	 △ 36	 △ 31	 △ 14	 △ 5	 △ 32
小売業	 △ 13	 △ 22	 △ 10	 △ 23	 △ 17	 △ 16
建設業	 + 5	 △ 5	 △ 11	 △ 13	 △ 5	 △ 7
サービス業	 0	 △ 8	 △ 7	 △ 25	 △ 5	 △ 14
不動産業	 + 16	 + 17	 + 13	 + 10	 + 17	 + 17

←好調



低調→



項目別にみると、売上額DIは+3、前期比16ポイント上昇、収益DIは△5、前期比10ポイント上昇した。

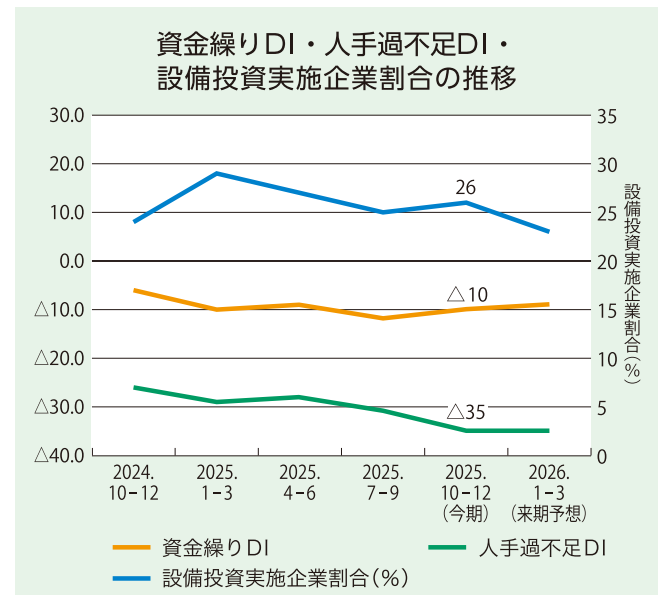
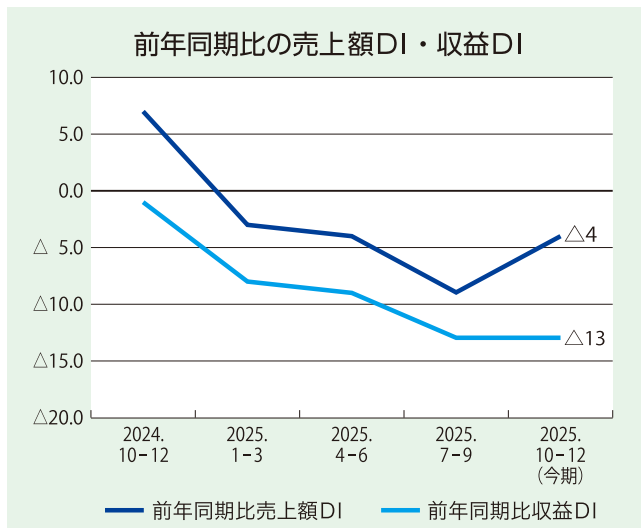
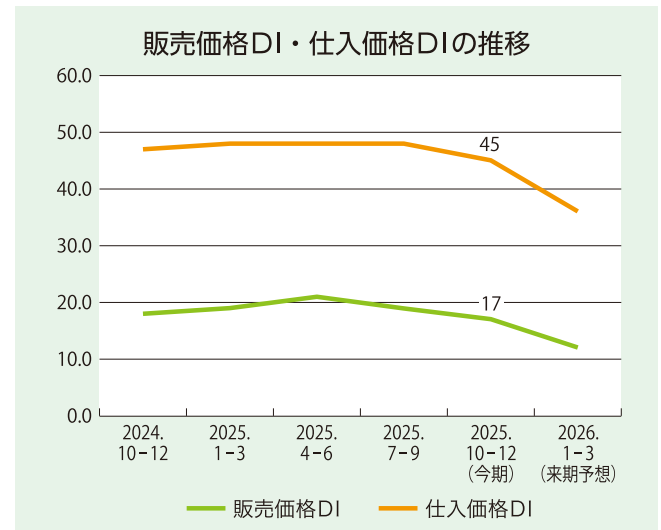
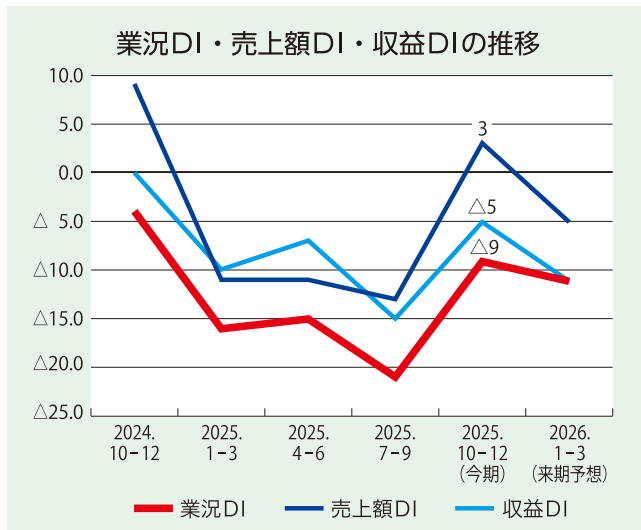
販売価格DIは+17、前期比2ポイント低下、仕入価格DIは+45、前期比3ポイント低下。

前年同期比売上額DIは△4、前期比5ポイントの上昇、同収益DIは△13、前期と変わらず。

雇用面では、人手過不足DIが△35（マイナス幅が大きいと人手不足感が強い、前期は△31）で人手不足感が強まった。

資金繰り面では、資金繰りDIは△10で、前期比2ポイントの改善。

設備の状況は、設備投資実施企業割合は26%、前期比1ポイント上昇した。



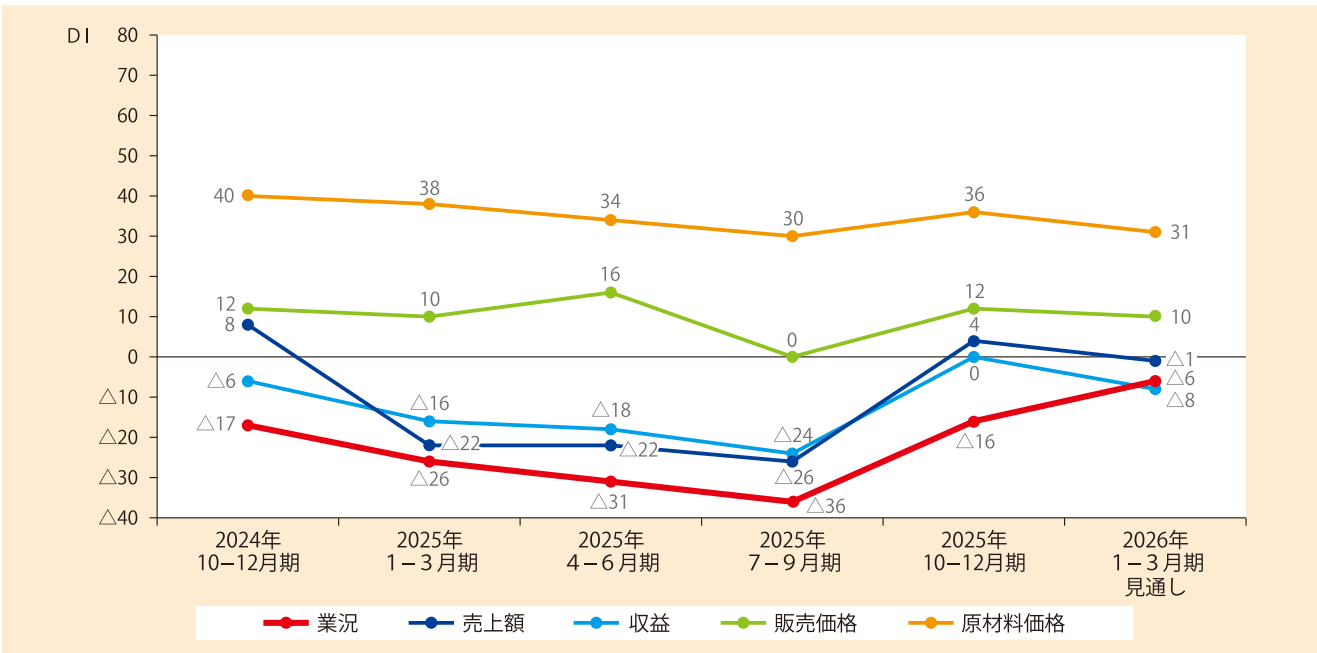
第202回景気動向調査 調査概要

1. 調査時期：2025年10～12月
2. 調査地域：高崎市
3. 調査方法：アンケート用紙に基づく面談調査
4. 分析方法：各質問事項で「増加・上昇」したとする企業が全体に占める構成比と、「減少・下落」したとする企業の構成比との差（判断DI）を中心に分析を行いました。
5. 対象企業：451社（有効回答数422社・回答率93.5%）



製造業

108企業



今期の業況 (2025年10-12月期)

製造業の業況DIは△16、前期比20ポイント上昇し、4期ぶりに上昇した。

売上額DIは+4、前期比30ポイント上昇、収益DIは±0、同比24ポイント上昇した。

原材料価格DIは+36、同比6ポイント上昇し、5期ぶりに上昇した。

人手過不足DIは△25となり、人手過不足感はわずかに悪化した。

設備投資実施企業割合は30%となり、前期比6ポイント上昇した。

来期の業況 (2026年1-3月期)

来期の予想業況判断DIは△6と、今期実績比10ポイント上昇を見込んでいる。

各種DIの状況

	2025年7-9月期	2025年10-12月期	2026年1-3月期(見通し)
業況	△36	△16	△6
売上額	△26	4	△1
収益	△24	0	△8
販売価格	0	12	10
原材料価格	30	36	31
人手過不足	△22	△25	△27
資金繰り	△12	△15	△14
設備投資実施企業割合(%)	24	30	27

経営上の問題点

(複数回答)

- ・ 売上の停滞・減少 50%
- ・ 人手不足 31%
- ・ 原材料高 30%

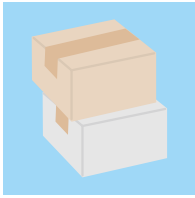
当面の重点経営施策

(複数回答)

- ・ 販路を広げる 61%
- ・ 人材を確保する 40%
- ・ 経費を節減する 38%

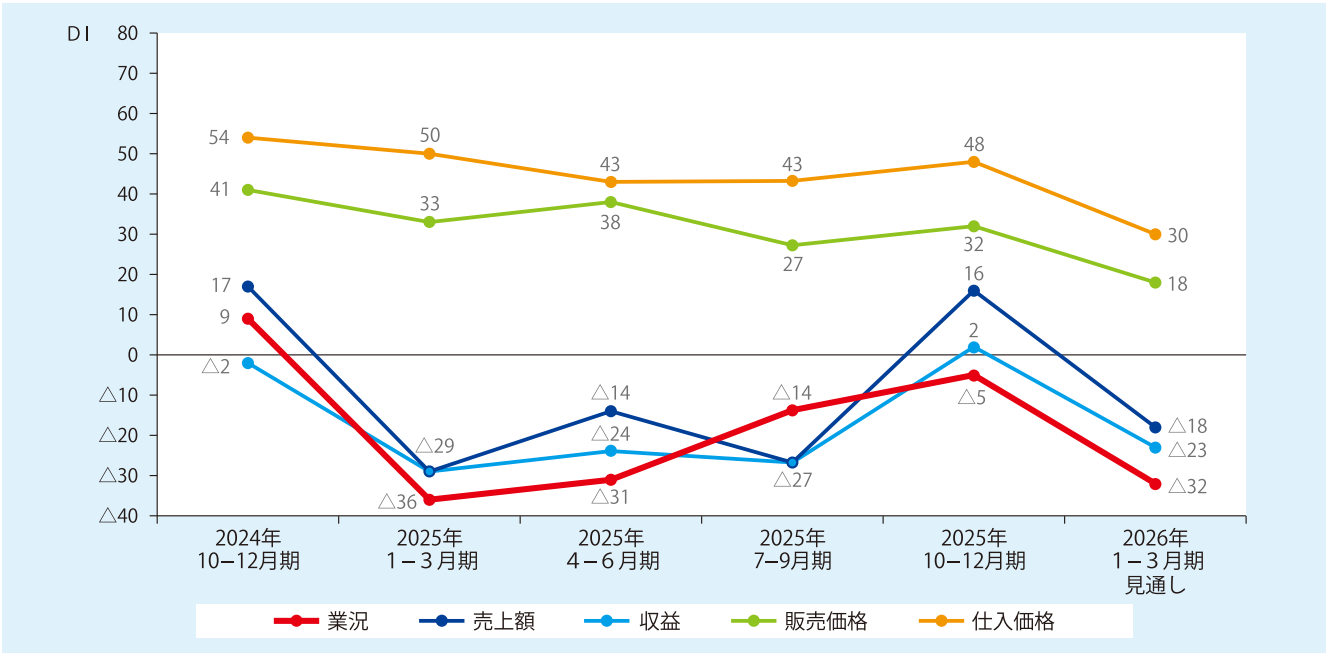
調査員のコメント

- 年度末に向けて受注増加が予想されるが、外注先、下請先の確保が厳しい。
- 品質管理担当が1名のみなので、DXに取り組んでいきたい。
- 人手不足であり、中途採用に力を入れている。



卸売業

44企業



今期の業況 (2025年10-12月期)

卸売業の業況判断DIは $\Delta 5$ 、前期比9ポイント上昇し、3期連続で上昇した。

売上額DIは+16、同比43ポイント上昇、収益DIは+2、同比29ポイント上昇した。

仕入価格DIは+48、前期比5ポイント上昇した。

人手過不足DIは $\Delta 36$ となり、人手過不足感はわずかに悪化した。

設備投資実施企業割合は25%で、前期比5ポイント低下した。

来期の業況 (2026年1-3月期)

来期の予想業況判断DIは $\Delta 32$ と、今期実績比27ポイント低下を見込んでいる。

各種DIの状況

	2025年7-9月期	2025年10-12月期	2026年1-3月期(見通し)
業況	$\Delta 14$	$\Delta 5$	$\Delta 32$
売上額	$\Delta 27$	16	$\Delta 18$
収益	$\Delta 27$	2	$\Delta 23$
販売価格	27	32	18
仕入価格	43	48	30
人手過不足	$\Delta 30$	$\Delta 36$	$\Delta 32$
資金繰り	0	0	7
設備投資実施企業割合(%)	30	25	23

経営上の問題点

(複数回答)

- ・売上の停滞・減少 45%
- ・利幅の縮小 29%
- ・人手不足ほか 27%

当面の重点経営施策

(複数回答)

- ・販路を広げる 63%
- ・情報力を強化する 45%
- ・人材を確保する 31%

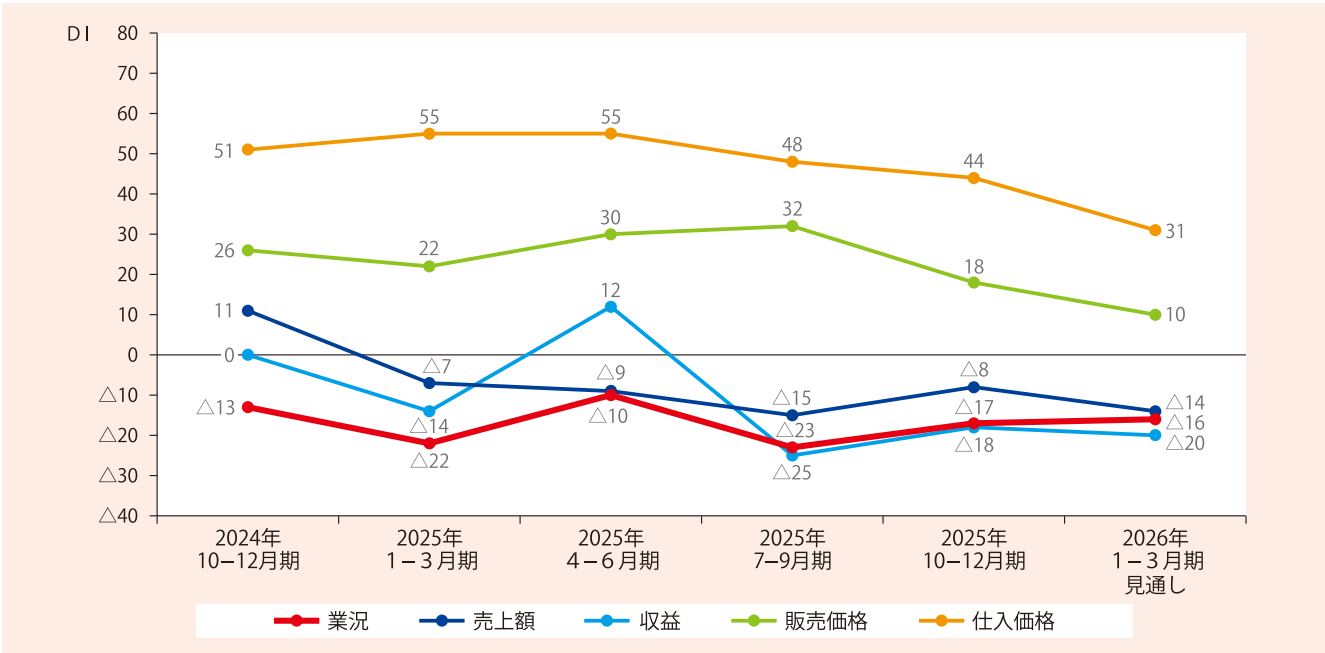
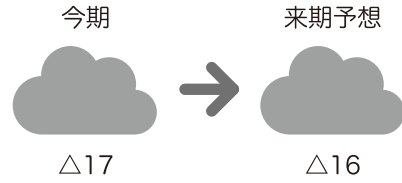
調査員のコメント

- 物価高騰の影響で増収となったが、収益は減少している。
- 取引先からも、紙の手形・小切手は少しずつ回ってこなくなった。
- 既存取引先の減少や人手不足の影響が大きい。新規先開拓に力を入れていく。



小売業

88企業



今期の業況 (2025年10-12月期)

小売業の業況DIは△17、前期比6ポイント上昇し、わずかに上昇となった。

売上額DIは△8、同比7ポイント上昇、収益DIは△18、同比7ポイント上昇した。

仕入価格DIは+44、同比4ポイント低下した。

人手過不足DIは△25となり、人手過不足感はわずかに悪化した。

設備投資実施企業割合は13%となり、前期比2ポイント低下した。

来期の業況 (2026年1-3月期)

来期の予想業況DIは△16と、今期実績比1ポイント上昇を見込んでいる。

各種DIの状況

	2025年 7-9月期	2025年 10-12月期	2026年 1-3月期 (見通し)
業況	△23	△17	△16
売上額	△15	△8	△14
収益	△25	△18	△20
販売価格	32	18	10
仕入価格	48	44	31
人手過不足	△21	△25	△25
資金繰り	△22	△16	△14
設備投資実施企業割合 (%)	15	13	17

経営上の問題点

(複数回答)

- ・ 売上の停滞・減少 39%
- ・ 利幅の縮小 26%
- ・ 仕入先からの値上げ要請 26%

当面の重点経営施策

(複数回答)

- ・ 経費を節減する 40%
- ・ 品揃えを改善する 31%
- ・ 売れ筋商品を取扱う 26%

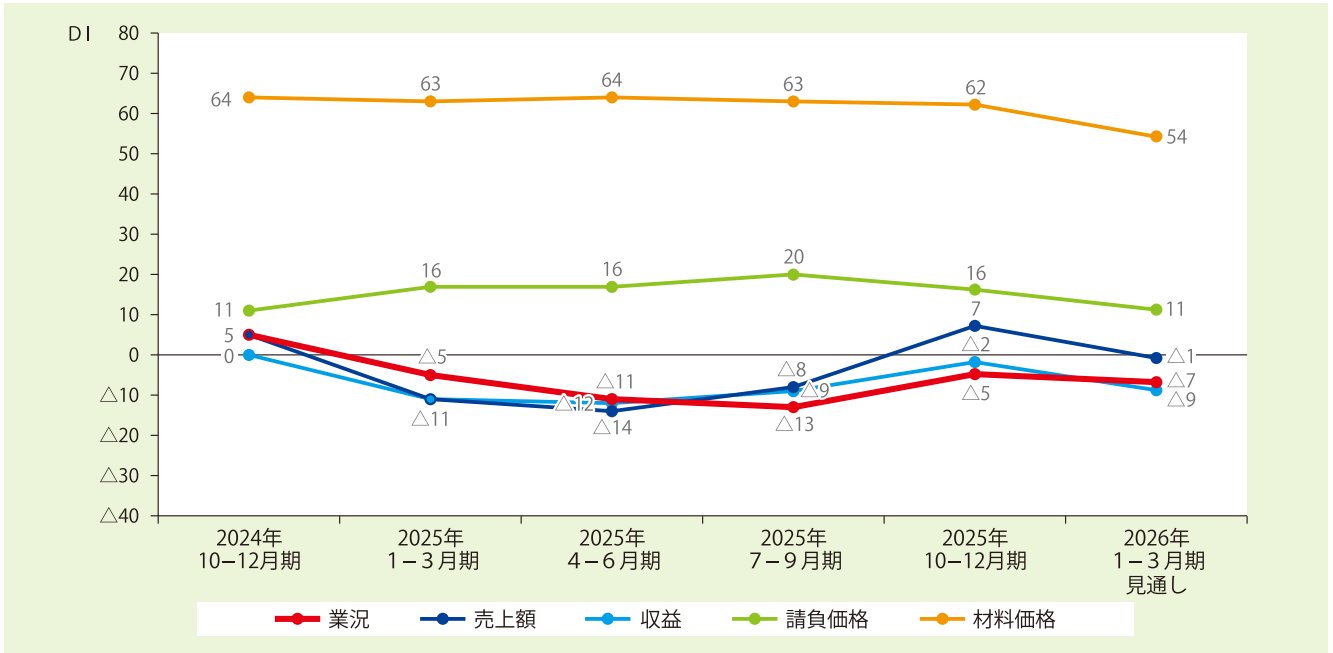
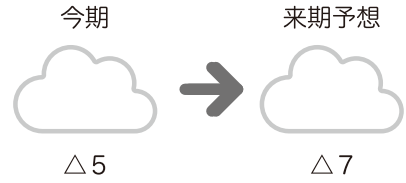
調査員のコメント

- 洋菓子に使うカカオや卵が高騰しており、利幅の減少が止まらない。
- 従業員や下請先が高齢化しており、新規雇用を進める必要がある。
- 円安の影響で仕入価格が上昇している。



建設業

94企業



今期の業況 (2025年10-12月期)

建設業の業況DIは△5、前期比8ポイント上昇し、4期ぶりに上昇した。

売上額DIは+7、同比15ポイント上昇、収益DIは△2、同比7ポイント上昇した。

材料価格DIは+62、同比1ポイント低下した。

人手過不足DIは△51となり、人手過不足感はわずかに改善した。

設備投資実施企業割合は33%となり、前期比1ポイント上昇した。

来期の業況 (2026年1-3月期)

来期の予想業況DIは△7と、今期実績比2ポイント低下を見込んでいる。

各種DIの状況

	2025年 7-9月期	2025年 10-12月期	2026年 1-3月期 (見通し)
業況	△13	△5	△7
売上額	△8	7	△1
収益	△9	△2	△9
請負価格	20	16	11
材料価格	63	62	54
人手過不足	△54	△51	△50
資金繰り	△7	△6	△9
設備投資実施企業割合(%)	32	33	23

経営上の問題点

(複数回答)

- ・材料価格の上昇 57%
- ・人手不足 55%
- ・売上の停滞・減少 30%

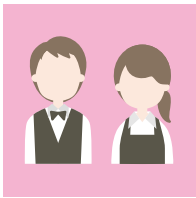
当面の重点経営施策

(複数回答)

- ・人材を確保する 56%
- ・経費を節減する 42%
- ・販路を広げる 34%

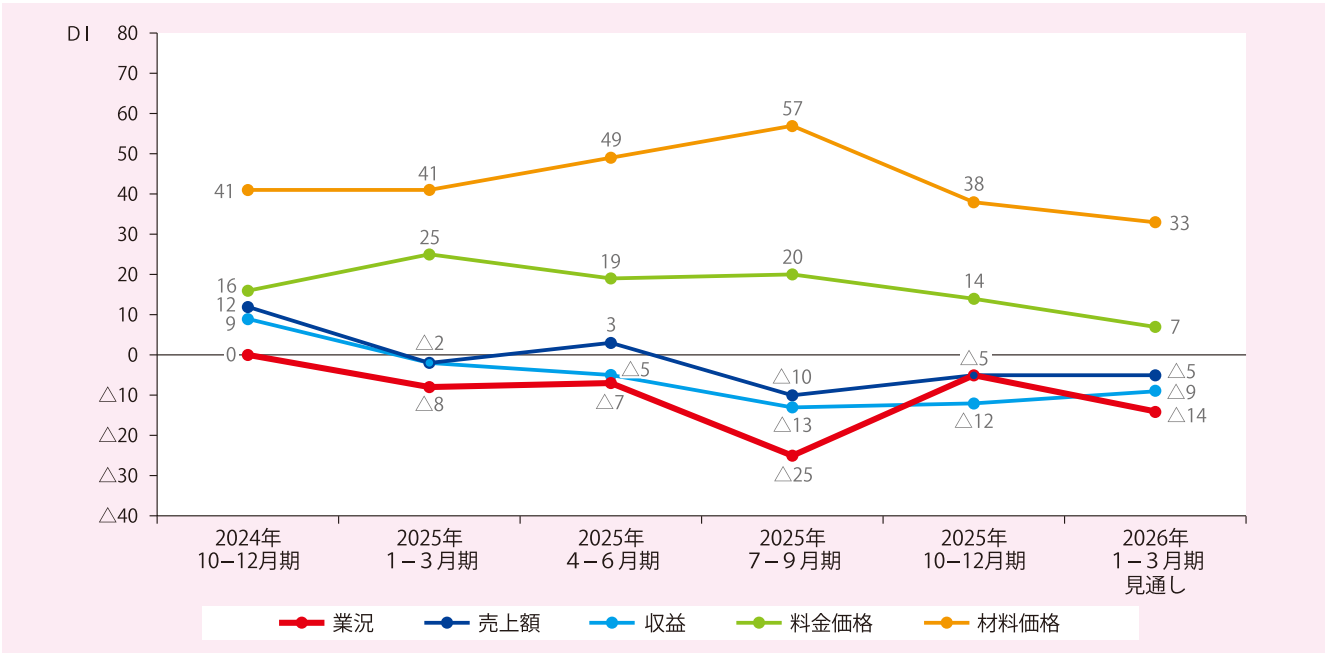
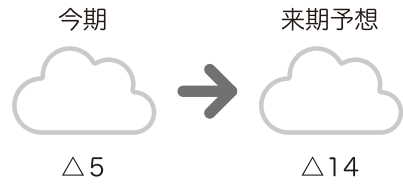
調査員のコメント

- 人手不足のため、親会社から人材紹介のあっせんがあった。
- 従業員のスキル向上のため、定期的に勉強会やセミナーを実施している。
- でんさいを利用しており、紙の手形・小切手より便利になった。



サービス業

58企業



今期の業況 (2025年10-12月期)

サービス業の業況DIは△5、前期比20ポイント上昇し、小幅上昇となった。

売上額DIは△5、同比5ポイント上昇、収益DIは△12、同比1ポイント上昇した。

材料価格DIは+38、前期比19ポイント低下した。

人手過不足DIは△45となり、人手過不足感はやや悪化した。

設備投資実施企業割合は29%となり、前期比1ポイント上昇した。

来期の業況 (2026年1-3月期)

来期の予想業況DIは△14と、今期実績比9ポイント低下を見込んでいる。

各種DIの状況

	2025年7-9月期	2025年10-12月期	2026年1-3月期(見通し)
業況	△25	△5	△14
売上額	△10	△5	△5
収益	△13	△12	△9
料金価格	20	14	7
材料価格	57	38	33
人手過不足	△37	△45	△45
資金繰り	△20	△16	△19
設備投資実施企業割合(%)	28	29	26

経営上の問題点

(複数回答)

- ・ 材料価格の上昇 41%
- ・ 売上の停滞・減少 37%
- ・ 人手不足 36%

当面の重点経営施策

(複数回答)

- ・ 販路を広げる 39%
- ・ 人材を確保する 36%
- ・ 経費を節減する 34%

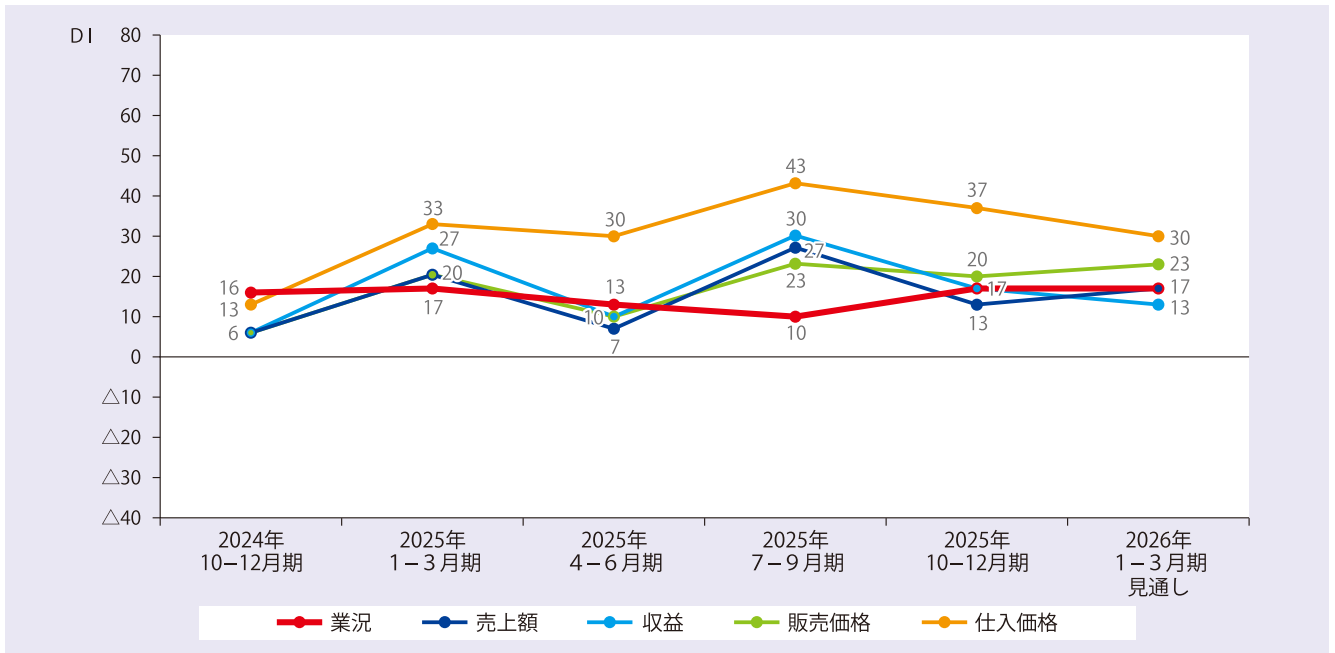
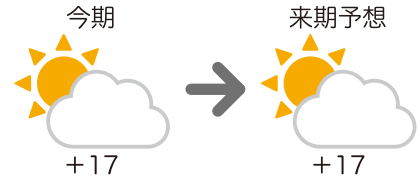
調査員のコメント

- 交通事故の減少や自動車自体の性能向上により、自動車修理は減少傾向にある。
- 受注はあるものの、人手不足により断っている仕事が多い。
- 新規設備も導入しているが、人員が不足しており、売上増加には至っていない。



不動産業

30企業



今期の業況 (2025年10-12月期)

不動産業の業況DIは+17、前期比7ポイント上昇し、3期ぶりに上昇した。

売上額DIは+13、同比14ポイント低下、収益DIは+17、同比13ポイント低下した。

仕入価格DIは+37、同比6ポイント低下した。

人手過不足DIは△27となり、人手過不足感は小幅に悪化した。

来期の業況 (2026年1-3月期)

来期の予想業況DIは+17と、今期と変わらずを見込んでいる。

各種DIの状況

	2025年7-9月期	2025年10-12月期	2026年1-3月期(見通し)
業況	10	17	17
売上額	27	13	17
収益	30	17	13
販売価格	23	20	23
仕入価格	43	37	30
人手過不足	△7	△27	△30
資金繰り	3	7	13

経営上の問題点

(複数回答)

- 商品物件の不足 63%
- 同業者間の競争の激化 40%
- 商品物件の高騰 33%

当面の重点経営施策

(複数回答)

- 情報力を強化する 63%
- 販路を広げる 40%
- 宣伝・広告を強化する 40%

調査員のコメント

- 競売不動産の高騰等により仕入面で苦戦している。
- 商品物件が高騰しているが、仲介案件は安定して確保できている。
- 相続の相談が継続的に来ているが、個々の売上規模は小さい。

2026年(令和8年)の経営見通し

= 景況レポート No.202 特別調査結果 = (令和7年10月~12月期)

本年も「2026年の経営見通し」について、当金庫のお客さま422企業に特別調査を実施いたしました。

問1 貴社では、2026年の日本の景気をどのように見通していますか。1つ選んでお答え下さい。

日本の景気見通し

(単位: %)

		良い (A)				普通	悪い (B)				(A)-(B)
		非常に良い	良い	やや良い	やや悪い		悪い	非常に悪い			
業種別	製造業	13.0	-	1.9	11.1	31.5	55.5	50.9	2.8	1.9	△42.6
	卸売業	15.9	-	-	15.9	34.1	50.0	40.9	9.1	-	△34.1
	小売業	13.6	-	1.1	12.5	50.0	36.3	28.4	6.8	1.1	△22.7
	サービス業	10.3	-	1.7	8.6	37.9	51.7	43.1	8.6	-	△41.4
	建設業	10.6	-	1.1	9.6	38.3	51.1	40.4	9.6	1.1	△40.4
	不動産業	30.0	-	6.7	23.3	26.7	43.3	40.0	3.3	-	△13.3
全体	2026年	13.7	-	1.7	12.1	37.7	48.6	41.0	6.6	0.9	△34.8
	2025年	9.2	0.2	1.7	7.3	36.3	54.5	42.6	10.9	1.0	△45.3
	2024年	12.0	-	1.2	10.8	32.8	55.2	38.7	15.3	1.2	△43.2
	2023年	9.6	0.2	0.7	8.7	23.8	66.6	45.3	18.8	2.5	△57.0

問2 貴社では、2026年の自社の業況(景気)をどのように見通していますか。1つ選んでお答え下さい。

自社の業況見通し

(単位: %)

		良い (A)				普通	悪い (B)				(A)-(B)
		非常に良い	良い	やや良い	やや悪い		悪い	非常に悪い			
業種別	製造業	12.0	0.9	4.6	6.5	44.4	43.5	36.1	5.6	1.9	△31.5
	卸売業	18.2	-	2.3	15.9	34.1	47.7	40.9	6.8	-	△29.5
	小売業	11.4	-	-	11.4	53.4	35.2	29.5	4.5	1.1	△23.9
	サービス業	10.3	-	-	10.3	58.6	31.0	27.6	3.4	-	△20.7
	建設業	16.0	-	3.2	12.8	45.7	38.3	31.9	4.3	2.1	△22.3
	不動産業	30.0	3.3	3.3	23.3	50.0	20.0	20.0	-	-	10.0
全体	2026年	14.4	0.5	2.4	11.6	47.9	37.7	32.0	4.5	1.2	△23.2
	2025年	15.5	0.7	3.4	11.4	48.7	35.9	29.3	5.6	1.0	△20.4
	2024年	17.7	0.5	1.6	15.6	41.0	41.3	32.8	7.8	0.7	△23.6
	2023年	13.4	-	1.1	12.3	42.4	44.1	33.6	8.5	2.0	△30.7

問3 2026年において貴社の売上額の伸び率は、2025年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。1つ選んでお答え下さい。

自社の売上額伸び率の見通し

(単位: %)

		増加 (A)				変わらない	減少 (B)				(A)-(B)		
		30%以上	20~29%	10~19%	10%未満		10%未満	10~19%	20~29%	30%以上			
業種別	製造業	30.5	0.9	0.9	5.6	23.1	40.7	27.8	17.6	4.6	3.7	1.9	2.8
	卸売業	34.1	-	-	4.5	29.5	27.3	38.6	31.8	6.8	-	-	△4.5
	小売業	25.0	-	-	3.4	21.6	44.3	30.7	21.6	6.8	1.1	1.1	△5.7
	サービス業	31.0	-	3.4	3.4	24.1	44.8	24.1	20.7	1.7	-	1.7	6.9
	建設業	29.8	1.1	1.1	11.7	16.0	40.4	29.8	12.8	14.9	1.1	1.1	0.0
	不動産業	36.7	6.7	13.3	6.7	10.0	53.3	10.0	10.0	-	-	-	26.7
全体	2026年	30.1	0.9	1.9	6.2	21.1	41.5	28.2	18.7	6.9	1.4	1.2	1.9
	2025年	31.3	0.5	2.9	6.8	21.1	42.9	25.8	18.4	4.4	1.5	1.5	5.5
	2024年	33.7	0.9	1.4	11.3	20.0	37.3	28.8	17.7	7.8	2.6	0.7	4.9
	2023年	31.9	1.1	1.6	10.1	19.1	40.1	27.8	17.7	7.2	2.0	0.9	4.1

問4

貴社では、自社の業況が上向き転換点をいつ頃になると見通していますか。1つ選んでお答え下さい。

自社の業況が上向き転換点

(単位：%)

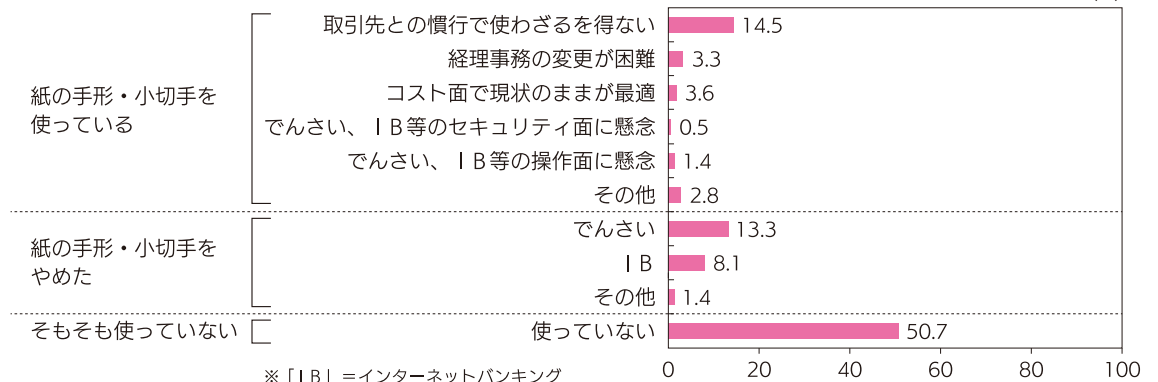
		すでに上向き	6カ月以内	1年後	2年後	3年後	3年超	業務改善の見通しなし
業 種 別	製 造 業	20.4	8.3	18.5	8.3	10.2	6.5	26.9
	卸 売 業	15.9	18.2	18.2	4.5	9.1	—	34.1
	小 売 業	11.4	6.8	18.2	9.1	6.8	2.3	45.5
	サービス業	10.3	12.1	13.8	20.7	8.6	6.9	25.9
	建 設 業	12.8	5.3	14.9	12.8	13.8	6.4	34.0
	不動産業	20.0	23.3	20.0	6.7	13.3	—	16.7
全 体	2026年	14.9	10.0	17.1	10.7	10.2	4.5	32.2
	2025年	19.1	11.9	18.9	10.7	8.2	6.1	24.7
	2024年	16.5	12.3	22.4	10.6	7.3	5.7	24.3
	2023年	12.3	10.8	18.2	15.2	10.3	7.2	24.0

問5

紙の手形・小切手の利用状況についてお伺いします。政府は2027年3月末までに約束手形の利用廃止、小切手の全面的な電子化の方針を示しています。貴社では、現時点で、企業間の資金決済の手段として、紙の手形・小切手を使っていますか。使っている場合はその理由を、もともと使っていたがやめた場合は現在の主な資金決済手段を、そもそも手形・小切手自体を使っていない場合は使っていないと、最もあてはまるものを1つ選んでお答え下さい。

紙の手形・小切手の利用状況

(%)



※「IB」=インターネットバンキング

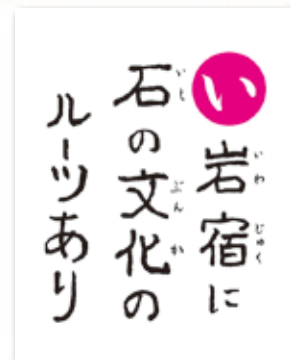


こう ずけ さん び
上野三碑かるた

読み札を紹介します③

高崎信用金庫は、ユネスコ「世界の記憶」に登録された文化遺産、上野三碑の普及推進活動に取り組んでいます。

上野三碑かるたは、地域の貴重な文化遺産である上野三碑と、その所在する地域や関連する文化財にかかわるもの等を読み札にしたかるたです。読み札とともに、地域の貴重な文化遺産をご紹介します。



昭和21年、民間の考古学者である相澤忠洋さんが、当時の群馬県笠懸村岩宿の赤土から石器を見つけ、土器を持たない旧石器文化が日本にあったことを初めて示しました。これは、日本の歴史の新しい扉を開く大発見でした。

◆ 店舗紹介 ◆

北支店

住所 〒370-0804 高崎市住吉町 5
TEL 027-322-3980

北支店は、1925(大正14)年に高崎信用組合北出張所として開設され、1990(平成2)年に現在の住所に移転しました。近隣には、高崎警察署や高崎文化会館などの施設があります。

開店から1世紀が経過し、二代、三代と継続してお取引いただいているお客さまも少なくありません。たかしんでは最も古い支店です。



たかしん北支店を紹介します！

北支店長 鈴木 崇史

当店は、支店長他管理職4名、預金・融資担当5名、営業担当2名、総勢11名で構成されています。ガラス張りの外観が印象的な当店は、自然光が差し込む明るい空間で、お客さまを元気にお迎えしています。

当店には「北信会」というお客さまを会員とした後援会団体があり、ゴルフ、旅行、ボウリング大会、クリスマス会などを通して、会員同士の交流を図っています。特に12月に開催するクリスマス会には、毎年150名以上のお客さまに参加して頂き、盛大に行っています。

これからも、お客さまから信頼され、必要とされる金融機関になれるよう、また地域に貢献できるよう活動してまいります。生活に身近な資金のことから将来のご計画まで、お気軽にご相談ください。職員一同心よりお待ちしております。



北支店の職員



北信会のクリスマス会の様子
職員がサンタとトナカイに扮して盛り上げました



たかしん公式 Instagram はじめました

高崎信用金庫は、Instagramの公式アカウントを開設しました。
当金庫の取組みや地域情報、お客さま情報などを発信しています。
ぜひ、フォロー、いいね！をよろしくお願いいたします！



@takasaki_shinkin_gunma

本レポートは、情報提供のみを目的として作成したものです。掲載資料は当金庫が信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、その正確性や安全性を保証するものではありません。投資等に関する最終決定はご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。

当金庫ホームページでも、たかしん景況レポートをご覧いただけます。

また、本調査への皆さまのご意見、ご希望がありましたら、お気軽にお寄せください。

高崎信用金庫 経営管理部 TEL.027-360-3422 (直通)

